

令和8年度 第1回可児市上下水道事業経営審議会議事録

【日 時】 令和8年6月5日（金曜日）午後4時から午後5時05分まで

【場 所】 可児市役所 5階第1委員会室

【出席者】 審議会委員10人、事務局11人

1. 部長あいさつ

本日は大変お忙しい中、令和8年度第1回可児市上下水道事業経営審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

安全安心な水道水を安定的に供給し適正な生活排水処理を進めるという基本理念に基づき、水道及び下水道事業について日々業務を遂行しております。平素より皆様の深いご理解に心から感謝申し上げます。

本審議会について、初めて参加される委員様もいらっしゃいますので、改めてその役割についてご説明させていただきます。本審議会は可児市上下水道事業経営審議会条例に基づきまして、市長の諮問に応じ、水道事業及び下水道事業の経営に関して必要な調査及び審議を行うために設置された組織でございます。

本日は、昨年度作成した下水道事業経営戦略ならびに、令和8年度水道及び下水道事業の予算についてご説明させていただきます。これにより、皆様により深い理解をいただくとともに、幅広い視点からのご意見をお伺いできれば幸いです。委員の皆様には忌憚のないご意見、ご提案を賜りますようよろしくお願いいたします。

2. 交代委員の紹介等

- ・交代委員の紹介、自己紹介
大平委員、初鹿委員
- ・大杉委員退任の報告
- ・事務局の紹介
- ・副会長の選出

【副会長あいさつ要旨】

可児商工会議所専務理事の渡辺です。2年目になり、まだ分からないことも多いですが、会長のお力になれるよう取り組みますのでよろしくお願いいたします。

【定足数】

会長より定足数（9名出席）を満たすことの説明

【会長あいさつ要旨】

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。自身は 2019 年 10 月から上下水道料金経営審議会委員であり、今年で 8 年目となる。水道部職員の皆さんが全員入れ替わっており自分が一番長く居るが、水道事業にずっと携わっているわけではないため、審議会の中で説明を聞いて理解するとともに、皆様からも自由な意見をいただきたい。本年度もよろしくお願いいたします。

【議事録署名者】

会長より議事録署名者として渡辺委員と市原委員の指名

3. 議題

以下の議題について、事務局説明と質疑応答を行った。

- (1) 下水道事業経営戦略について
- (2) 令和 8 年度下水道事業の予算について
- (3) 令和 8 年度水道事業の予算について

発言者：☆＝会長 ○＝委員 ●＝事務局

(1) 下水道事業経営戦略について

●上記の議題について説明

☆この戦略は、経営状況を毎年見比べるというよりは、10 年単位の経営の目標値や現状を掴む良い材料である。難しい用語も多かったが、質問や意見はあるか。

☆P2 の民間活力の活用等について、PPP に取り組む自治体も多いが、可児市で検討している官民連携はあるか。

●可児市単独では行っていない。流域下水道事業において、各務原市と岐阜市とで試行的に作業をしており、その動向を見ながら検討していく。流域で関係しているのは御嵩町のみであり、近隣に処理施設があるなど流域的なものはないため、市町村連携は考えづらい。

○説明がざっくりとしていたため分かりにくかった。

☆今回の説明の趣旨は、戦略があることを知ってもらうことと、今後のモニタリングで目標を設定し現状がどうかを議論していくため、P4、5 のような指標があることを知ってもらうためである。モニタリングに向け、P4 経営の健全性・効率性①～⑤と P5 老朽化の状況①②について、現状改善の必要性があるのか説明願いたい。

●P4 経営の健全性・効率性①～⑤と P5 老朽化の状況①②について説明

☆経常収支比率は単年度の収支であるため、100%は必ず越えなければならない。経費回収率について、下水処理にはお金がかかるがその費用を回収しなければならないため、100%は必ず越えなければならない。その他の項目については、最低限黒字にしておかなければ長期的な維持管理が厳しい。老朽化については、自治体によって下水道管の布設時期やこれまでの施設の状況によって変わるため、平均と比べても意味はない。P12 の経営比較分析表は類似団体と比較されており、これを見ると老朽化が大きく悪化しているということはない。

(2) 令和 8 年度下水道事業の予算について

●上記の議題について説明

☆最終ページ指標①管更生の達成率の目標値が R7 から R8 にかけて下がっているのはなぜか。

●計画は 5 年単位であり、R3 から R7 末にかけて 100%になるよう設定している。R8 からは 2 期目のストックマネジメント計画であり、R12 を最終年度としている。R7 の結果は空白となっているが 100%である。

☆ストックマネジメント計画の 1 期 2 期とは、エリアを分けているというイメージか。

●地区の区別はないが、管の点検結果から優先順位を決め、順位の高い箇所から実施している。

☆調査の結果、実施すべき箇所をピックアップし 1 期と 2 期に分け、優先順位が高い順に潰していくというイメージか。

●そうである。

☆全体的に大きく数字が変わっているということはないが、人口は減っても戸数は増える傾向にあるため接続件数は増えている。人口が減ると処理水量が減る傾向にあるのは他自治体と同じである。

(3) 令和 8 年度水道事業の予算について

●上記の議題について説明

☆支出の全体的な話になるが、民間工事でも公共事業でも予算通りに進められず止まってしまうことがある。資材費の高騰などがあると思うが、現時点で当初の予算通り事業が進みそうか。

●今年度の予算を組んだのが R7 の 11 月ごろである。その後、中東情勢により石油製品が不足するなどの事態が起きたため、予算時に作成した設計金額よりも今年度作成した設計書の金額の方が高くなっている。現時点で予定している大規模な工事は入札まで進んでいないが、事業を中止するほど切迫した状況ではないと考える。

☆名古屋駅や岐阜駅の開発が中止になったという話も聞くため、緊急性の高い事業については確実に対応してもらいたい。

○今年度上水道基本料金の減免が 4 か月間あるが、減免金額分については予算の中の軽減負担金に表れているのか。

●P1①水道料金が 131,000 千円減になっており、主な増減内容にある「物価高騰対策に伴う基本料金の軽減（4 か月分）による減」の部分で 4 月から 7 月まで行う水道基本料金の減免金額を表している。一方で、他会計負担金にて同額の約 130,000 千円を計上している。減免を行うことにより水道料金の収入は減るが、国から同額が補てんされるため、水道事業会計への影響は無い。

○P1 資本的支出に投資有価証券とあるが、この内容と金額の決め方について教えてほしい。

●R7 は比較的安全な地方債を 5 億円ほど購入している。R8 は 4 億円購入する予定だが、満期償還で約 3 億を見込んでいるため、新規で購入するのは 1 億円ほどである。最近是有価証券の利息が上がっていることもあり、現金預金のみを保有するのではなく、有価証券を購入している。

☆国債を買うことが多いと思っていたが、地方債の方が利回りは良いのか。

●多少だが利回りが良い。

☆途中で売買するよりは満期で償還し、少しでも金利が付くよう安全な有価証券を選び購入しているということか。

●そうである。

☆P2（４）給水原価・供給単価について、給水原価は受水費や変動的な経費により変わると思うが、供給単価が変わるのはどういうことか。全体的な収益を給水量で割った結果の数字という認識で良いか。

●そうである。R8 については、水道基本料金の減免の影響により変動している。

☆通常は給水原価より供給単価の方が高くなると思うが、R8 は給水原価の方が高くなっている。これは、水道基本料金の減免額を含み計算した結果、原価割れしているということか。その分は国からの補てんされるため、水道事業会計が赤字になるといことはないということか。

●そうである。

4. その他

【今後のスケジュール等】

- ・ 次回は 11 月頃に開催予定
- ・ 委員報酬についての説明

（会議終了）